

行政職員/教職員/支援者向け

ACEサバイバー 支援者養成講座

気軽に学ぶ

1回
コース

毎日新聞大阪社会事業団助成事業

講師

三谷 はるよ 氏

大阪大学大学院人間科学研究科 准教授



【プロフィール】

2014年大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士（人間科学）。大阪大学大学院助教、龍谷大学社会学部専任講師・准教授を経て、2024年4月から現職。第3回福祉社会学会奨励賞、第15回日本NPO学会賞林雄二郎賞を受賞。専門は、福祉社会学、家族社会学。主著に、『ACEサバイバー：子ども期の逆境に苦しむ人々』（ちくま新書、2023年）。

第1回/1回コース

時間

10:00～12:00

8.22 土

会場

大阪中央公会堂

大会議室

テーマ

「子ども期の逆境体験（ACE）
の基礎理解と支援の視点」

近年、児童虐待や貧困、家庭機能の低下などにより、ACE（子どもの逆境体験）を有する子どもが増加しています。

ACEを経験した子どもは、学習意欲の低下、行動上の問題、心理的ストレスなどを抱えることが多く、行政や学校現場ではその理解と対応が求められています。

しかし、現場では「問題行動」として表面化するケースが多く、根底にあるトラウマ理解が十分でない現状があります。

具体的には児童相談所でのトラウマを負った子どもへの体制づくりができていると答えたのは9%にとどまる、という報道があったように、こどもの実態に支援体制が十分に追いついていないことから、トラウマを負ったこどもが十分なケアを受けられないまま大人になり、次々とACEサバイバーやその予備軍が生まれ、社会から孤立していると推察されます。

本講座を通じて、福祉・医療・行政・教育分野が連携し、“支援のあり方”をトラウマインフォームドな視点で見直し、権利擁護について考える機会となることを狙います。

参加費

1,000円

お申し込み

お問合せ

定員

50名（先着順）

【お申し込み締切】
定員に達し次第



office.donutstalk@gmail.com

担当：辻田